

去る10月20日(土)～21日(日)にかけて、浜松市砂山町にある南部協働センターにおいて、2018年度の「南部協働センターまつり」が開催され、初日の様子取材してきました。

まず訪れた体育館では、地域の方々が制作したアート作品が展示してあり、俳句や折り紙…絵手紙や生け花など、なかなか見応えのある作品をゆっくり鑑賞させていただきました。

また、ふだん協働センターを使用しているサークルが主催するフリーマーケットなども出店されていて、販売する側も購入をする側も和気藹々と楽しそうな雰囲気の中、有意義な不要品リサイクルが行われていました。



[浜松南部協働センターまつり1](#)



[浜松南部協働センターまつり2](#)

中庭では、浜松中央警察署より警察官の方々が出張されており、パトカーを展示しながら来場者とのコミュニケーションを図って下さっていました。パトカーの運転席に座らせてもらった子ども達は皆嬉しそうで、きっと警察官になったような気分を味わっていたことでしょう。

また、その近くにはテレビから飛び出してきた特撮ヒーローのような姿も。聞けばアーマードポリスといって、平成27年から「静岡県警察広報大使」として県内各地で警察と協力して防犯や交通事故防止の広報を行っているのだそうです。やはり子ども達には大人気の様でした。



[浜松南部協働センターまつり3](#)



[浜松南部協働センターまつり4](#)

ホールでは、協働センター内で活動しているさまざまなサークルの演技発表も行われており、私は「太極南部同好会」の演舞と「FDリリィ」のダンスを拝見させていただきました。皆さん楽しそうに発表をされており、見ているこちらもとても楽しかったです。

他にも民謡の発表やオカリナの演奏等のプログラムも書かれていて、協働センター内では高齢者向けのさまざまなサークル活動が活発に行われている様子でした。それらの活動もまた時間があつたら取材させていただきたいと思いました。



[浜松南部協働センターまつり5](#)



[浜松南部協働センターまつり6](#)

今回、手作りの楽しいお祭り取材させていただいて、とてもほっこりとした良い気分になることができました。また来年もぜひ遊びにこさせてもらおうと思います。

浜松南部地区いきがい特派員 丸山敬